※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新版　世界史Ａ　新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の諸地域の歴史を概観し、近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら学習する。筆記テストの成績、平常点（出欠状況・授業態度・学習への関心）を勘案して総合的に評価する。

２　学習の到達目標

近現代を中心とする世界の歴史を、年表や地図、その他の資料にもとづいて学習し、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。また、多様な文化・文明を広い視野から考察して歴史的思考力を養うとともに、現代の世界が抱える諸課題について探求し、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・自分で課題を見つけ、見通しを持って調べようとしているかを、生徒の活動の観察、調べた内容の分析などを通して評価する。 ・学習したことをもとにして、さらに新しい課題を見つけているかを、ノートやプリントの分析を通して評価する。	・考察した内容を、ノートやプリントの分析を通して評価する。 ・発問に対する生徒の反応や質問の仕方・内容を観察・吟味して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・資料等を適切に収集・活用しているかを、発表資料や作成したレポートを通して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・筆記テストで、授業で理解した内容、身につけた知識を確認して評価する。 ・発問に対する回答や各自のノートから、基本的な事柄を理解しているかを分析して評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○	○	○	○ ○	a:自然環境が人類の生活に影響を与え、人類が自然環境に積極的働きかけることによって文明が誕生していく過程を意欲的に考察し、地理・歴史への関心を高めようとしているか。 b:オランダと日本のかかわりから、日本と世界のさまざまな地域との歴史的な交流について考察できているか。 c:さまざまな景観の図から、その地域の地理的な特色を読み取ることができているか。 d:文明発達に影響を与えた地理的な条件を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。	ワークシート 出欠状況 授業態度
	ユーラシアの諸文明と交流	・文明の始まり ・ユーラシア諸文明の特質と交流 ・ヨーロッパ世界の形成	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:オリエント、ギリシア・ローマの発展に対し意欲的に追及しようとしているか。 b:ユーラシアの社会およびオリエント社会の発展と変容を多面的、多角的に考察することができているか。 c:必要な諸資料からユーラシアの社会およびオリエント社会の発展と変容を読み取ることができているか。 d:ユーラシア・オリエントに形成された文明の特質を理解しているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※令和３年度以前入学生用

	一体化に向かう世界と日本	・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの発展と主権国家体制 ・アジアの繁栄	○ ○	 ○ 	○ ○ 	 ○ ○	a：ルネサンス期における文化の変容について関心を高めようとしているか。 b：ヨーロッパ社会が精神面でも制度上でも大きな変容を遂げた過程を理解し、考察することができているか。 c：主権国家の成立にともなう社会の変化を諸資料から読み取ることができているか。 d：中世末期からのヨーロッパと同時期のアジアの繁栄について理解し、その知識を身につけているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
後期	ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	・産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・ウィーン体制と 1848 年の革命 ・ヨーロッパの国民国家の発展 ・19 世紀のアメリカ合衆国 ・アジア諸国の変動	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a： アメリカ独立革命・フランス革命が市民革命といわれる所以について、関心を高めることができているか。 b：産業革命や市民の蜂起による国民国家の発展について、現代の国民国家と結び付けて考察できているか。また、アジアや南米が列強による支配を受けたことでどのような変化が起こるかについて考察し、結果を適切に表現できているか。 c：主に産業革命で発明された道具を資料で紹介し、工業化のイメージをふくらますことができるか。また、激動する世界情勢について地図から視覚的に情報を集め、地政学的にも理解を深められているか。 d：19 世紀からの世界の一体化へ進む過程は、各国の軍備や経済力、思想などさまざまな要因で成し遂げられていくことを自らの知識として身につけることができているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※令和３年度以前入学生用

	現代世界のあゆみ	・帝国主義と世界の分割 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制と国際連盟 ・第二次世界大戦	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:列強による植民地分割競争が世界に波及し、世界大戦が勃発したことを理解し、戦後に生きている者として考察を深め、現代の諸問題に対しても興味・関心を持っているか。 b:世界大戦を繰り返し起こしてしまった理由について考察できているか。 c:世界大戦の諸資料から当時の様子を読み取り、戦争の悲惨さを感じ取るとともに、平和への希求を強めることができているか。 d:戦争に対する理解を、これから生きていく際に活用できうる知識として身につけることができているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
	第二次世界大戦後の世界	・冷戦と国際連合 ・多極化する世界 ・冷戦後の世界	○ ○	 ○	○	 ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。 b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の国際情勢の動向と関連付けて考察できているか。 c:諸資料から冷戦構造について読みとることができているか。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の国際情勢と関連付けて理解し、その知識を身につけているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c: :資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。